

【南区】 要求額総額 257,400（千円）

1	事業名称	原山台3号線舗装補修工事
	区長意見	本道路は沿道に敷物団地をはじめ各種工場、事業所、商業施設などが密集し、産業の幹線道路としての役割を果たしています。このため、大型トラックをはじめ交通量も多く、路面の傷みが激しいが、開発以来、大規模な補修は行っておりません。通行車両や歩行者の安全確保はもとより、事業者の利便や産業振興といった面からみても、補修を優先的に実施する必要があると考えます。
	事業所管局意見 (建設局 南部地域整備事務所)	NT内商業施設へ通じる主要幹線であるが、大規模な舗装補修は実施しておりません。舗装のめくれや、ひび割れ等劣化が著しく、近隣事業者や道路の利用者より補修要望も多く、通行車両の安全確保の観点からも早急な補修が必要です。 (建設局 土木部 南部地域整備事務所)
	事業概要	本路線は、NT内商業施設へ通じる主要幹線であり、NT建設以来舗装の大規模な補修は実施していない。舗装のめくれや、ひび割れ等劣化が著しく、近隣事業者や道路の利用者より補修要望も多く、通行車両の安全確保の観点からも早急な補修が必要である。 平成24、25、26、27、28年度以降 【平成27年度】舗装補修工 L=45m W=11.0m A=500m <sup>2</sup> 事業費 5,000千円 【平成28年度以降】舗装補修工 L=525m W=11.0~15.0m A=6,500m <sup>2</sup> 事業費 65,000千円 【平成26年度】舗装補修工 L=175m W=11.0m A=1,930m <sup>2</sup> 事業費 20,000千円 【平成25年度】舗装補修工 L=570m W=10.0m A=5,700m <sup>2</sup> 事業費 37,000千円 【平成24年度】舗装補修工 L=850m W=10.0m A=8,180m <sup>2</sup> 事業費 56,000千円
	事業費	5,000(千円)
2	事業名称	光明池地区センターNo.5-1歩道橋外補修工事
	区長意見	当該歩道橋は光明池駅前の幹線道路をまたぐ形で大規模商業施設群を貫いて鴨谷体育館へ抜けるものです。最近では、周辺に大規模集合住宅が次々と建設されており、歩行者が頻繁に利用するため交通量も多いです。泉北ニュータウン建設当時の設置で老朽化が著しく、年次計画の中で歩道橋全体を補修していく必要があると考えます。
	事業所管局意見 (建設局 南部地域整備事務所)	当該歩道橋は光明池駅前の商業施設から鴨谷体育館へ通じる歩道橋の一部で、建設以来40年以上が経過し老朽化も著しくなっており、市民からの補修要望が入っているととも、堺市歩道橋維持管理計画のなかでも補修の優先度の高い歩道橋となっています。
	事業概要	光明池駅前の商業施設から鴨谷体育館へ通じる歩道橋については平成24年度から順次補修を行っており、平成27年度は光明池地区センターNo.5-1歩道橋外の補修を予定している。(平成24年度No.5-3歩道橋、平成25年度No.5-4歩道橋、平成26年度No.5-2歩道橋)
	事業費	30,000(千円)

【南区】 要求額総額 257,400（千円）

3	事業名称	緑道の除草による安全確保について
	区長意見	泉北ニュータウンは他の地域と異なり、緑道が生活道路として設計された都市です。しかしながら、その総延長距離・面積が膨大なため、除草作業は他の区に比べて、回数を減らしていました。一方、区民の日常生活において緑道が快適に通行できることは、住民の満足度に直結する事柄であるうえ、近年、緑道周辺での犯罪が増加していることから、緑道周辺での犯罪防止協力について警察からも要望を受けています。このため、防犯上の観点からも、少なくとも他の区と同程度の頻度で除草作業を実施する必要があるものと考えます。
	事業所管局意見 (建設局 泉ヶ丘公園事務所)	泉北ニュータウンの緑道は、駅前広場、公園、学校、近隣センターを相互に結んでおり、全長は約24km、幅は約10mで、約4mの園路の両側には高中低木が植栽され、散歩やジョギング等のレクリエーション利用だけでなく、生活道路として通勤・通学・買物等にも大いに利用されています。緑道の安全確保として、照明灯の増設及び改良を平成17年から6ヶ年計画で行い、また緑道内通路部の路面改修についても平成15年から順次行っている。しかしながら、通路部周辺の除草(草刈)は7月と11月の年2回しか行われておらず、南区以外の区では年3回行っていることもあり、区民からの苦情や要望も非常に多く、また景観上だけでなく防犯上も問題があります。
	事業概要	緑道における3回目の除草委託費を区局連携予算要求するものである。
	事業費	33,000(千円)
4	事業名称	ため池環境改善整備事業(かいとの池)
	区長意見	本池は住宅地の中央に位置しており現在、悪臭等住民の住環境をいちじるしく害していることから早急に改善を図ることが必要であると考えます。
	事業所管局意見 (産業振興局 農業土木課)	本池は、周辺の急激な都市化により泥土が堆積し、悪臭等の苦情が多く維持管理が難しくなっています。このため、余水吐の切り下げを行い、ため池の持つ貯留機能を高めるとともに、悪臭の原因となる泥土を固化改良し、改良土を利用して堤や地山の補強を行う等、ため池施設の改良を行い維持管理の軽減を図るものです。
	事業概要	泥土改良 B=1,400m <sup>3</sup> 堤体盛土工 B= 200m <sup>3</sup> 護岸工 A= 175m <sup>2</sup> 付帯工 1式
	事業費	15,000（千円）

【南区】 要求額総額 257,400（千円）

5	事業名称	マンホール蓋更新工事【下水道事業会計】
	区長意見	<p>本事業は、泉北ニュータウン都市インフラの更新として耐用年数を超えたマンホール蓋の撤去新設を行うものです。</p> <p>耐用年数を超えたマンホール蓋は、市民から摩耗により表面の凹凸が無くなり雨天時に滑る、蓋がガタガタするなどの声をいただいています。</p> <p>これまでも地中埋設管の工事に伴う道路舗装工事等に合わせ実施しているが、これでは優先度が高い蓋の場所とは一致していない現状があります。</p> <p>今回の事業実施により、調査の経過・現状に応じた工事の実施が可能となり、地域住民の安全・安心の向上が図れることから区局連携事業として有効であると考えます。</p>
	事業所管局意見 (上下水道局竹城台下水道管理事務所)	<p>泉北ニュータウン地区において、耐用年数を超えるマンホール蓋が多数あります。本工事は、調査結果に基づき、緊急性や経済性、優先順位を考慮しながらマンホール蓋の改築を行うもので、市民の快適かつ安全・安心な暮らしを守ります。</p>
	事業概要	泉北ニュータウン地区の改築を必要とするマンホール蓋を計画的に更新
	事業費	162,000（千円）
6	事業名称	泉北ニュータウン雨水柵蓋修繕工事【下水道事業会計】
	区長意見	<p>本事業は、泉北ニュータウン都市インフラの更新・若返り工事の一つとして、老朽化した重いコンクリート製の蓋を撤去し、軽いグレーチング蓋に交換するものです。これは、南区においては自治会などのボランティアによる美化活動が活発で、雨水柵の清掃においても住民の自主的清掃活動が期待できることから、それを後押しするためにも、取り外して掃除のしやすい形状に変更するものでもあります。こういったことを通じて、住民自ら「街をきれいに」という意識を高めていただき、自治会活動の活性化にもつながると考えられることから、区局連携事業として有効な事業と考えます。</p>
	事業所管局意見 (上下水道局竹城台下水道管理事務所)	<p>本修繕工事は、主として道路雨水排水を受ける雨水柵のコンクリート蓋をグレーチング蓋へ交換を行うもので、交換により安全性及び耐久性の向上を図るものです。</p>
	事業概要	<p>260箇所 コンクリート蓋からグレーチング蓋の交換を行う。 材料費、工事費込みの事業費</p>
事業費	4,400（千円）	

区局連携事業 予算要求調書

【南区】 要求額総額 257,400（千円）

7	事業名称	鉛製給水管の取替【水道事業会計】
	区長意見	鉛製給水管は道路の配水支管から宅地のメーターまでを結ぶ管として、水道創設期から広く使われてきました。しかし、腐食による漏水が多いことや平成15年に鉛の水質基準が強化されたことから、現在、上下水道局では鉛製給水管の全面解消に取り組んでいます。 本事業は、区民にとっては、将来にわたって安全安心な水道をお使いいただけるうえ、市にとっても、鉛管解消を実施し、良質な水の供給に寄与できることから、本事業は区局連携事業として実施するのにふさわしいと考えます。
	事業所管局意見 (上下水道局 配水計画課)	本事業は、比較的新しい配水支管((口径300mm以下の配水管)に接続されている鉛製給水管をポリエチレン管に取り替えるものです。
	事業概要	新檜尾台1丁 鉛管解消件数 約40件 御池台1丁 鉛管解消件数 約20件
	事業費	8,000（千円）(舗装本復旧工事費除く)